


町長コラム

温故創新



「見守り隊」って誰の仕事？

庄内町長 富樫透

「見守り隊」ってどんなイメージでしょうか？通学や下校時に大人が児童の安全を守るために、危険箇所を誘導している光景が浮かぶのが大部分ではないでしょうか？しかし、川西町のNPO法人きらりよしじまネットワークの活動では、登下校時に児童のみなさんがいつも顔を合わせている地域のお年寄りの安否の確認をしているとのことでした。

思い込みや型にはめた考え方が一新された瞬間でした。子どもたちも青年層も壮年それ以上の方も、それぞれの立場で地域に関わる実践例を示していただいたように感じました。振り返ってみると、少し前の時代には子どもには子どもの役割がしっかりあった気もしています。時代は変わりましたが、時代にあった社会参加の方法が少子高齢化の中で求められているのかもしれない。

折しも来年度、学区地区の公民館から「まちづくりセンター」へ移行するにあたり、移行予定地域の運営協議会の設立総会がはじまりました。一方、各地域の現状に合わせて、来年度ではなくそれ以降にむけて協議を継続中の地域もあります。

災害時の対応も含めて、コミュニティの再生は、地域の安全を守る上で必要不可欠です。また、多くの諸課題は地域によっても事情が違います。地域を一番良く理解しているみなさんが、「相互扶助」の気持ちをもって地域特性を活かしながら「まちづくりセンター」が住民主体の地域づくりの拠点になることを願ってやみません。

町としても全力で応援しますので、より機能的な地域づくりに参加をよろしく願います。